氏名	宮 田 義 昭
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	博乙第1957号
学位授与の日付	昭和63年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**ネコの味覚皮質への視床性求心路に関する実験的研究**
論文審査委員	教授 堀 泰雄　教授 西本 詮　教授 大月三郎

学位論文内容の要旨

この研究はネコの味覚皮質への視床性求心路を過酸化酵素（HRP）法で研究したものである。味覚野は主としてシルビウス前溝外側唇から眼窩回腹側部に及ぶが，周囲との境界は明瞭でなく，前方および前内側方は分野6に，内側方はシルビウス前溝の底および内側堤（前頭前野）に，外側方は一次体知覚野に，後方は島野に移行する。味覚野は主として視床の後内側腹側核の小細胞性内側部（VPMM）から線維を受ける。この投射はほぼ前後の方向に局在性を有するが，やや複雑に構成され，味覚野の前部はVPMMの前2／3の前背側部および後腹側部から，後部はVPMMの後2／3の前腹側部および後背側部ないし後部から線維を受ける。さらに，VPMMの皮質投射には内外側の方向に局在性があり，味覚野の外側部は後内側腹側核の外側部でVPMMに近い部からも線維を受ける。味覚野はこのほか外側腹側核，内側腹側核，内側下核，中心傍核，外側中心核，束傍核，内側中心核などから線維を受ける。

論文審査の結果の要旨

本研究はネコ視床後内側腹側核の小細胞性内側部より味覚皮質への線維投射にみられる局在関係を過酸化酵素法により研究し，その全貌を3次元的に明らかにし，あわせて内側および外側腹側核をはじめとする若干の視床核より味覚皮質への線維投射のあることを明らかにしたものであり，神経解剖学の分野における価値ある新知見である。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。